

# 岩手教区報

第389号  
立教188年5月1日  
天理教岩手教務支庁  
盛岡市馬場町3-40  
TEL 019-622-7962  
FAX 019-623-9597



教えに基づくたすけあい  
主事・災救隊隊長 高橋 邦之



教祖140年祭

今年2月26日、年祭活動の「登殿参列」の割り当てとなり、10年ぶりにかぐらづとめを間近で拝しました。特に「くにとこたちのみこと」と「をまたりのみこと」のかんろだいを中心として正対したそのお姿に感激し、夫婦と天地の理合いを学ばせていただく貴重な参拝になりました。その有難さの余韻に浸る間もないうちに、その日の午後、「大船渡山林火災」のニュースが飛び込んできたのです。同じ沿岸に住むようぼくとして、一日も早い鎮火と、被害が最小限になるよう、帰郷中一心に祈っていました。

災救隊岩手教区隊として初めて大船渡市に入った3月5日、未明から降り出した雪は、岩手県沿岸ではこの冬初めてまとまった積雪となり、その後雨に変わって一日中降り続いたのです。誰もが待ち望んだ「恵みの雨」は、地域の人々に安堵の表情をもたらしていきます。「さあ、救援ひのきしん」という歩み出しの日に、まずは親神様のお働きに気づく場面をお見せいただき、信仰に基づいた救援活動であることを再認識しました。

救援作業は、物資仕分けをつとめ終えた後、個人宅

の現場へと移っていきました。土を掘り起こして焼けた草木や灰を埋め戻したり、焼け落ちた倉庫の瓦礫の運搬をしたり、思いの外ハードな作業に音を上げてしまいうでした。そのような中、元気の出る種が二つありました。

一つは、ボランティアの地元高校生の明るく献身的な働きぶり、あらかじうりよう指針に示されてある、たすけ一条の喜びに徹する青年会員のように見えたことです。もう一つは、大船渡市社会福祉協議会の方々が私たちを「ひのきしんさん」と親しみを込めて声をかけてくれていることです。これは、全国の教友の真実によるものとも思えますし、「ひのきしん」という教えを言葉にして発して下さっていることが何よりも嬉しくありがたいことで、被災地の「たすけあい」に勇ませていただく原動力にもなっています。

年祭活動も残すところ8か月余りとなりました。被災地支援もその一つですが、目の前におたすけに心を向けて地道にコツコツと積み上げていくことが、お望み下さる成人への近道と思っております。教祖140年祭に向かって世界たすけの先達として、その歩みを一手一つに力強く推し進めてまいりましょう。



## 「滑って転んで」

前回書いた、お道の信者が1人も居ない戸数80軒ほどの集落にある、遠い親戚筋のおたすけの続きになります。ちよくちよく通っておさづけを取り次がせていただいても、なかなか身上に進展をお見せ頂けないでいたので、両親と娘さん3人でのおちば帰りを勧めました。すぐには応じてくれませんでした。老後のことを考えると娘さんが案じられることもあって、やっと承諾して頂き、3人揃って別席を運ぶことになりました。

しかし、精神的身上のおたすけは、経験不足の私にはなかなかの困難を極め、しばらく経って思い切って修養科入学をお誘いしました。これも牛や豚の世話があるから3か月も家を空けられないと、長く固辞が続いていました。

2月のある日、夕づとめをつとめてい

る最中、「楽々の道を通っている人は人を救われぬ」という天の声が聞こえたように感じました。水垢離をする元気はありませんでしたので、凍れる夜でしたが、積雪と凍結の10kmの道を、何度も滑って転びながら歩いて向かいました。

途上、3台の車が停まって「何処まで行くの、乗って行きませんか」と温かい声を掛けてくれましたが、「雪道を歩く練習をしているので」と出任せを言って辞退し、雪がなければ90分ほどの道を、倍近く掛かって歩き続けました。やっと到着し、また熱を込めて修養科へお誘いしましたが、返事は変わらず、帰路は寒さと疲れでヘトヘトになっていました。

翌日、朝づとめを終えた直後、その父親から電話が入りました。「夕べ一晩考えたが、修養科に行かせてみようかと思う」という内容でした。私は夕べ、歩いて訪ねたことは一言も伝えていないので、これは教祖がお出ばり下さっていると確信しました。

2か月後、父と娘さんをお連れして修養科に向かいました。しかし、危惧していた通り、娘さんは3次面接まで行き、付き添いなしの入学は許されませんでした。予期していたとはいえ、せっかくその気になってくれた娘さんに申し訳なく、お詫びをして2人の中席の順序を進めて、

いったん帰ることにしました。

するとしばらく考え込んでいた父親が「会長さん、娘のみ預けていく気で来ましたが、今回は私のみ残って入ることはできませんか」と衝撃の言葉を言われました。そんな準備もせずおちばへ帰ったのに、そこまで思わせしめたのは、子供救けたい一条の教祖の親心が溢れている、おちばの理に相違ないと思えました。

その後、この両親と娘さん3人は、実家を息子さんに預け、教会隣のアパートに引っ越しをされ、長きにわたり、朝夕のおつとめ、月次祭を揃ってつとめてくれました。

## 行事予定 【5月分】

- 1日 役員会議(10時)
- 3日 青年会例会(19時)
- 10日 学生会新入生歓迎会(10時)
- 11日 道の教職員の集い総会及び講演会
- 17日 女子青年例会(10時)
- 18日 災救隊教区研修会(13時30分)
- 24日 岩手教区おちばがえり(27日)
- 29日 婦人会例会(10時)
- 30日 役員会議・決算地方委員会
- 31日/6月1日 ようぼく一斉活動日



### 鈴木眞彦教区長再任 教区役員、職制一覧

去る3月26日、教区長に鈴木眞彦磐井分教会長が再任。それに伴い、教区の新しい役員、職制が4月1日に発表された。

|         |             |
|---------|-------------|
| 教区長     | 鈴木 眞彦       |
| 主 事     | 中田 祥浩 高橋 邦和 |
| 集 会 員   | 高橋 邦之 権谷 正一 |
| 支 部 長   | 中田 祥浩 羽澤 道広 |
| (九戸)    | 権谷 正一       |
| (二戸)    | 羽澤 道広       |
| (盛岡)    | 高橋 邦和       |
| (三陸)    | 大谷 史彦       |
| (花巻)    | 中田 祥浩       |
| (奥州)    | 中田 祥浩       |
| (県南)    | 吉田 眞一       |
| 会 計 部 長 | 中田 祥浩       |
| 教 務 部 長 | 崎 山 道 範     |
| 布 教 部 長 | 権 谷 正 一     |
| 祭 事 部 長 | 鈴 木 眞 浩     |
| 厚 生 部 長 | 高 橋 邦 和     |
| 献血推進委員長 | 小笠原 敦子      |
| 広報部長    | 高橋 邦之       |
| 啓発担当者   | 千葉 道雄       |

|         |         |
|---------|---------|
| 道友社代表社員 | 高橋 邦之   |
| 婦人会主任   | 鈴木 眞喜   |
| 青年会委員長  | 村 松 義朗  |
| 少年会団長   | 高橋 邦和   |
| 教職員の集い  | 門 間 道 明 |
| 代表世話人   | 高橋 邦之   |
| 災害隊隊長   | 鈴木 眞浩   |
| 学生担当委員長 | 崎 山 道 範 |
| 書 記     | 羽 澤 徹 徹 |
| 女子青年委員長 | 村 松 義 朗 |
| 学生会委員長  | 高 橋 泉 泉 |
|         | 崎 山 陽 平 |

### 第4回「ようばく」斉活動日 ―教区会場一覧―

◇プログラム おつとめ、諭達拝読、教会本部ビデオメッセージ、自主プログラム

|    |          |       |        |
|----|----------|-------|--------|
| 九戸 | 5月31日(土) | 13時   | 中野濱分教会 |
| 二戸 | 6月1日(日)  | 10時   | 二戸分教会  |
| 盛岡 | 6月1日(日)  | 9時45分 | 教務支庁   |
| 三陸 | 6月1日(日)  | 10時   | 赤濱分教会  |
| 花巻 | 6月1日(日)  | 13時   | 花巻分教会  |
| 奥州 | 5月31日(土) | 9時半   | 岩手原分教会 |
| 県南 | 6月1日(日)  | 13時   | 磐井分教会  |



### 学生担当委員会

#### 「春の学生おぢばがえり」

#### 団参報告

教区学生担当委員会・教区学生会は、さる3月28日、本部中庭において「春の学生おぢばがえり」が開催され、9人(内現地参加6人)、担当者5人が参加した。25日夕方に岩手を出発し、26日朝おぢばに到着。本部月次祭を参拝させて頂き、午後からUSJに行き翌27日は、記念建物を見学と東西泉水プール前広場の『春Fes』に参加した。

式典当日の28日はあいにくの雨模様となり、20年ぶりに東西礼拝場での開催となった。まず真柱様よりメッセージを戴き、実行委員長挨拶、決意表明と続き、道の学生成人目標を唱和した。式典後は各直属に分かれて「直属アワー」が開催され、夕方からの「ホクホク東北・北海道交流会」では、他教区との親睦を深めた。



### 「道の教職員の集い

#### 第50回総会及び講演会」

教区道の教職員の集いは、左記のように、総会及び講演会を開催します。

日時 5月11日(日) 午前10時講演会、終了後総会  
講師 桐山太司・神岩手布教所長  
会場 教務支庁



### 祭 事 部

#### 「祭儀式勉強会」報告

教区祭事部は、去る3月30日(日)、教務支庁において祭儀式勉強会を開催し、11人が受講した。今回は基本作法と「みたまうっし」の祭儀式、さらに、昨年本部祭儀委員会より改訂された内容や本部での申し合わせを反映した勉強会となった。はじめに、現在の正式な人数である7人制(斎主、副斎主、後取2人、典礼、装束師2人)を立式にて勤め、続いて祭壇の前に柩を移して、より実践に適した作法で3人制(斎主、後取2人)を学ばせて頂いた。



### 災 救 隊

#### 「大船渡山林火災出動」報告

災害隊岩手教区隊は、去る3月16日(日)、富松基成災害隊本部長が来県され、鈴木教区長と教区隊から千葉隊長はじめ3人が同行し、大船渡市赤崎町と同綾里町の火災現場を視察した。

その後、大船渡市社会福祉協議会からあらためて要請があり、災害隊員と教区有志が、3月18日(火)から26日(水)まで、大船渡高生を含む一般ボランティアと共に、被災地域の個人宅の作業に汗を流した。

(作業場所)

赤崎町外口地区、綾里町中曾根地区  
(作業内容)

木造倉庫の瓦礫の片付けと運搬、焼けた草木や灰の埋土、網と木材の撤去など。

(日数・人員)

7日間、のべ18人。



### 教区学生会新入生歓迎会

日時 5月10日(土) 10時  
場所 教務支庁  
内容 ひのきしん、交流会、昼食、他  
服装 動きやすい服

### 岩手教区おぢばがえり

期間 5月24日〜27日(3泊4日)  
宿泊 第38母屋  
内容 本部員講話、回廊ひのきしん、懇親会、他  
※詳細は教務支庁にお尋ね下さい。

災害隊岩手教区隊は、左記のように「災害隊教区研修会」を開催します。教区班、支部班長の方はご参加ください。

#### 「災害隊教区研修会」【5月18日】

日時 5月18日(日) 午後1時30分  
内容 新体制研修、資機材と物品の確認、ヘルメット貸与、他  
対象 教区班、支部班長、他希望者